

## 自己点検授業

自己点検授業とは、各科目で自己の学習のプロセスとその成果について確認を行う授業として実施します。科目担当教員から学習支援計画書に記載された「学生が達成すべき行動目標」に対する講評や提出したレポートの返却、ならびに今後の学習に対するアドバイスが行われます。自己点検授業で、自学自習を中心とする修学を効果的に進めてください。

## 修業年限と在学制限

修業年限は4年です。在学できる期間は8年を超えることはできません（学則第5条）。

休学期間は在学期間を含めません。通算して6学期間を超えて休学することはできません（学則第13条）。休学についてはp.13を参照してください。また、同一年次に2年を超えて在学することはできません（修学規程第13条）。

## 進級条件と卒業要件（学部）

### 進級条件（学部）

進級するためには、その前提として以下に示す進級条件を満たしている必要があります（修学規程第4条の3別表第1）。

年次	進級条件
2年次	1年次に1年以上在学し、かつ、修得単位数が20単位以上であること。
3年次	2年次に1年以上在学し、かつ、修得単位数が60単位以上であること。
4年次	3年次に1年以上在学し、かつ、「専門ゼミ」を含む修得単位数が108単位以上であること。

なお、3年次から4年次に進級できなかった者は、次年度に再度「専門ゼミ」を履修しなければなりません（修学規程第4条の3第2項）。

### 各年次で修得すべき単位数について

#### ■ 1年次

1年次終了時で40単位以上の修得が望ましい。

※修学上の注意事項

- 授業での学習と課外での学習のバランスを注視する。
- 出席状況が成績評価に大きく影響することから、学習中心の生活リズムを確立する。

#### ■ 2年次

2年次終了時で85単位以上の修得が望ましい。

※修学上の注意事項

- 専門科目に対する基礎学力を定着させ、キャリアデザインに基づく専門への興味、理解を伸ばすため、積極的にオフィスアワーや学習支援デスクなどの教育支援制度を活用する。
- 2年次進級時に修得単位の少ない学生（30単位以下）は、修学アドバイザーとの面談及び修学相談室での相談を実施し、早急に問題解決を図る。また、必要に応じて各教育支援施設を利用する。

#### ■ 3年次

3年次終了時で116単位以上の修得が望ましい。

※修学上の注意事項

- 4年次進級時には1～3年次に開講される全必修科目の単位を修得していることが望ましい。
- 4年次では、「プロジェクトデザインⅢ」の履修のみの状況が望ましい。

## 卒業要件（学部）

本学学部を卒業するためには、次の事項をすべて満たしていなければなりません。

- (1) 卒業に必要な最低単位数（124 単位）を修得していること（修学規程第 12 条別表第 5）。
- (2) 4 年以上在学していること（学則第 5 条、第 25 条）。
- (3) 指定放送大学科目の中から 1 科目以上を「履修」し、単位認定試験を「受験」していること（修学規程第 9 条）。
- (4) 「人間と自然セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を履修し、合格していること（学則第 25 条）。

## 卒業に必要な最低単位数（平成 24 年度以降入学生）

課程区分	科目区分	科目群	卒業に必要な最低単位数
修学基礎教育課程	修学基礎科目	修学基礎	6
	人間形成基礎科目	人文社会科学・外国語	10
		生涯スポーツ	2
		人間と自然	—
		生涯学習	—
英語教育課程	英語科目	英語	8
数理基礎教育課程	数理基礎科目	数理基礎	16
基礎実技教育課程	基礎実技科目	基礎実技	8
専門教育課程	専門科目	専門	59
	専門プロジェクト科目	専門プロジェクト	9
課程共通			6
合計			124

- 上表の単位には、学則第 18 条別表第 1 および修学規程に基づく教育課程表の必修科目および選択必修科目の単位が含まれていない。
- 専門教育課程における卒業に必要な最低単位数は、所属する学科の授業科目の履修によって修得していなければならない。
- 課程共通の 6 単位については、人文社会科学・外国語、生涯学習、英語、数理基礎、基礎実技および専門の科目群から修得していなければならない。

## 卒業要件にかかわる特殊な科目

### ■ 指定放送大学科目

履修の方法と併せて、p.62 から詳しく扱います。

### ■ 人間と自然セミナー

「人間と自然」科目群は、「人間と自然セミナーⅠ」、「人間と自然セミナーⅡ」および「人間と自然セミナーⅢ」で構成されており、修学基礎教育課程の「人間と自然」に属しています。本授業は金沢工業大学穴水湾自然学苑において、2泊3日の研修（日程は学年暦（pp. 99 - 100）参照）形式で実施されます。これらの科目は、単位は付与されませんが、いずれも卒業要件になっており、「合格」しなければ卒業できません（卒業要件（学部）参照）。履修申請は、「人間と自然セミナーⅠ」は教務課で一括登録しますので必要ありません。しかし、「人間と自然セミナーⅡ」および「人間と自然セミナーⅢ」ではみなさん自身が履修申請を行う必要がありますので注意してください。

#### ● 研修日程および実施場所について

全日程を金沢工業大学穴水湾自然学苑（p. 92 参照）で実施します。

#### ● 集合時間および場所等について

- (1) 研修初日の午前 8 時 30 分までに 3 号館前通路の集合場所に集まってください。
- (2) 指導員による「出席と健康状態の確認」を必ず済ませた後、大学指定のバスに乗り込んでください。
- (3) 往路復路とも大学指定のバスにより移動します。バスに乗り遅れた場合は、欠席扱いとなります。必ず教務課に届け、指示を受けてください。別の手段で来苑しても参加できません。

## 卒業（学士の学位授与）

卒業要件を満たした者には、教授会の意見を聴いて、学長が学士の学位を授与します(学則第25条)。  
授与される学位には、学部ごとに次のとおり専攻分野の名称が付記されます(学則第25条)。

工学部	学士（工学）
情報フロンティア学部	学士（情報学）
環境・建築学部	学士（工学）
バイオ・化学部	学士（理工学）

## 学部で修得した大学院科目の単位認定申請（大学院）

### ■単位認定の申請について

学部4年次に大学院科目の単位を修得し、本学大学院博士前期課程（修士課程）に進学した者は、教務課にて所定の手続きを行うことで、大学院科目の単位として修得した単位の一部または全部について、単位認定の申請をすることができます。(大学院科目の履修については p. 55 を参照)

#### ●平成29年度の申請期間

4月4日（火）8：30～4月14日（金）17：00

#### ●申請方法

「単位換算申請書」および「成績証明書（科目履修学部生）」のコピーを申請期間内に教務課に提出してください。なお、「単位換算申請書」は、教務課ホームページからダウンロードできます。

## 修了要件（大学院）

### 修了要件（博士前期課程（修士課程））

#### ■修士課程および博士前期課程の修了要件（大学院学則第33条 学位申請要領参照）

修士課程および博士前期課程の修了要件は、当該課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位申請までに論文または特定の課題の内容を専門学協会か各種コンペなどにおいて、少なくとも1回以上プレゼンテーションするとともに、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査および最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

### 修了（修士の学位の授与）

課程ごとに規定された修了要件を満たした者には、大学院委員会の意見を聴いて、学長が修士の学位を授与します(大学院学則第35条)。授与される学位には、研究科または研究科の専攻ごとに次の通り専攻分野の名称が付記されます(大学院学則35条の2)。

#### ●工学研究科

機械工学専攻	工学
環境土木工学専攻	工学
情報工学専攻	工学
電気電子工学専攻	工学
システム設計工学専攻	工学
バイオ・化学専攻	理工学
建築学専攻	工学
高信頼ものづくり専攻	工学
ビジネスアーキテクト専攻	工学又は学術

#### ●心理科学研究科

臨床心理学専攻 心理学

#### ●イノベーションマネジメント研究科

イノベーションマネジメント専攻 工学又は学術